

2023年度大学院修士課程一般入学試験（第Ⅲ期）問題

研究科名	科目名
文学研究科 国際言語教育専攻	日本語（No.1）

問題Ⅰ 職場における外国人社員とのコミュニケーションに関する次の文章を読んで、後の問に答えなさい。

日本人上司の伝えるスキルが低い原因をもう一つ。
それは、日本人同士であれば通じるとの思い込み¹にあります。

「言わなくてもわかるだろう」

理解できないのは受けとめ側の責任であり、2とする勝手な決めつけ。相手の察しに期待する日本では、何でもいちいち訊く人は嫌われ、1を聞いて10を知る人³が称賛されます。

「日本人とうまくコミュニケーションするには“テレパシー”が必要だ」

日本在住12年目を迎えた、知り合いの中国人の言葉です。
相手の気持ちを推し量るテレパシーをもっていなければ、日本人とのコミュニケーションは成り立たないのだとか。そのテレパシーは、「10年くらい日本で生活しないと身につかない」とのことです。
そして、部下のテレパシーに期待する日本人上司が頻繁に口にするフレーズがこれ。

「そんなのいちいち言わせるな！」

「前にも言っただろう！」

今日もオフィスには、部下の質問をシャットアウトする、こうした上司の罵声が飛び交います⁴。

日本人部下であれば、それでも仕事は回ります⁵。想像力をフルに働かせて、上司の気持ちを読み取ろうとしますから。
でも、外国人はそもそも1から10を汲み取ろうなんて意識がないですし、日本語能力の問題もあって1を言っても1に届かないこともザラ。外国人部下には、「言わなくてもわかる」はずがないのです。

日本人同士の会話は、聴き手責任のコミュニケーションスタイルといわれます。会話の背景や前後関係、話し手のバックグラウンドなどをふまえて、

「おそらく、この人はこういうことを言いたいのだろう」

と察してあげるのが聴き手の義務。そのため、話し手はわかりやすく説明しようとする意識が希薄になりがちです。
とりわけ上司と部下の関係においては、このありよう⁶は顕著になります。日本の会社では、上司の意向をそんたくすることも部下の大事な仕事の一つになっているくらいですから。

たとえば、私は外国人材をマネジメントする管理職むけの研修を数多くおこなっていますが、現状の課題を事前アンケートで訊いた時、「部下の日本語能力と日本のビジネス慣習に対する理解度が低い」という回答がやたら出てきます。多くの日本人マネージャーが、「うまく意思疎通が図れないのは、7」と決めつけているのです。残念ながら、「自分にも問題があるので伝え方を改善しよう」なんて意識は、ほとんどありません（苦笑）。

日本人上司に伝えるスキルが低い人が多いのは、こうした「聴き手（部下）に責任を押しつけられるコミュニケーションスタイル」に根本原因があるのです。

2023年度大学院修士課程一般入学試験（第Ⅲ期）問題

研究科名	科目名
文学研究科 国際言語教育専攻	日本語（No.2）

- 問1 1の「思い込み」とは何か。だれがどのようなことを考えているのか、具体的に説明しなさい。
- 問2 2に当てはまる適切な語句を次のア～エの中から選び、記号で答えなさい。
ア) 聴き手が理解できるように話すべき
イ) 聴き手は話されている内容に集中するべき
ウ) 聴き手は理解できるまで質問するべき
エ) 聴き手が話し手の意を汲むべき
- 問3 3はどのような人かを本文の内容に基づいて具体的に説明しなさい。
- 問4 4でいう「罵声」の内容を説明し、上司がなぜこうしたことを言うのか、本文の内容に基づいて説明しなさい。
- 問5 5の意味とその理由を説明しなさい。
- 問6 6が何を指すのかを示した上で、外国人社員とスムーズなコミュニケーションを行うために日本人が注意すべき点を本文の内容を踏まえて100字程度で論じなさい。
- 問7 7に当てはまる適切な語句を次のア～エの中から選び、記号で答えなさい。
ア) 主として自己主張の強い部下が多いからだ
イ) たいていの外国人社員はやる気がないからだ
ウ) もっぱら部下の能力不足に責任がある
エ) やっぱり自分の話し方に問題がある

2023年度大学院修士課程一般入学試験（第Ⅲ期）問題

研究科名	科目名
文学研究科 国際言語教育専攻	日本語（No.3）

問題Ⅱ 次の文章は、「AIと言語ゲーム」という見出しの「AIと誤謬可能性」という文章で、AI（人工知能）と人間を比較した内容の一部である。読んで、後の問に答えなさい。

ディープラーニング^(注)と似たような仕組みを持つ思考のモードとは、志向的な思考である。志向的な思考とは、何らかの基準に基づいて、より良い選択肢を選んでいくことによって答えを得るいとなみであり、その例として、「これは何か」という問いに答えることを考えてみよう。

この種の思考は、機械的な思考とは異なり、Xから学ぶ必要がある。決められた手順を踏めば答えが出るというものではなく、学習によって蓄えられた知識を参照し、それと付き合わせることによって「相対的に」最も適した答えを選んでいくことになる。「（目の前のものを指差して）これは何か」と問われたときには、様々なものの見た目に関する知識がなくてはならず、その知識を活用して、一番「近い」と思えるものを答えとするわけだ。【1】そのため、A 結果的に間違いであった、ということは当然起こり得る。

これは、ディープラーニングによるAIの思考でも人間の思考でも基本的に変わらない。もちろん両者には学習のプロセスや学習によって得られた知識の活用法などに違いがあり、それぞれにB 得手不得手があると思われるが、その違いで人間の「うっかりミス」を説明することはできないだろう。【2】

それではどこに「うっかりミス」の要因があるのかというと、それは人間の「志向的な思考」の場合は、答えを出す方法もまた（志向的に）選択可能であり、その際の選択基準に、正確性や迅速性などが考えられる、ということだ。【3】

例えば目の前のきのこ（らしきもの）を見て「これは何か」と問うとき、ただ単に目についたというだけだったのなら、自分のあやふやな知識に基づいて「たぶんなめこだろう」といった答えで満足するかもしれない。しかし、そのきのこを採取して食べようとしているのなら、携帯した図鑑と照らし合わせるなど、より確実な答えを得ようとするだろう。

つまり、その問いがどれほど正確性を求められるものなのか、あるいはどれほど迅速性を求められるのかといった状況に応じて、私たちは答えの出し方を変えることができるのだ。【4】

これは、人間の思考（質問・応答の言語ゲーム）が非常に柔軟であるということだが、間違いという観点から考えれば、正確さが求められる状況で十分正確ではない方法で答えを出してしまうという危険性があること、つまり、「手抜き」をしてしまう可能性もまた示している。

AIの場合は、今のところC 「手抜き」をしてしまう可能性は少ないだろう。これは、AI自身が「どの程度の正確性を求められているのか」を自ら判断しなくてはならない状況がまだ生じていない、ということだと思う。D もし将来において、AIが正確性と迅速性が求められる度合いを自ら（学習に基づいて）判断するようになれば、AIも「うっかりミス」をすると考えられるようになるかもしれない。

以上のことから、「うっかりミス」の二つ目の要因は、人間が「手抜き」をすることだと考えられる。

2023年度大学院修士課程一般入学試験（第Ⅲ期）問題

研究科名	科目名
文学研究科 国際言語教育専攻	日本語（No.4）

人間は機械的な思考は得意ではなく、志向的な思考は本質的に間違いの可能性を含んでいる。それだけであるなら、私たちの思考というものは非常に危ういものだ。【5】しかし、間違いは絶対に許されないような局面もまた存在する。一つのミスが人命に関わる場合や、判断の間違いが非常に広範囲で甚大な被害をもたらす可能性がある場合などがそうだ。そのような場合に私たちはどのように対応しているのだろうか。

（佐藤裕『人工知能の社会学—AIの時代に人間らしさを考える—』による。作題の関係上、本文を改めたところがある。）

（注）ディープラーニング —— 深層学習。人間が自然に行なうタスクをコンピュータに学習させる機械学習のこと。

問1. 空欄 X に入る語句は何か、以下の選択肢ア～オから最も適切なものを選び、記号を答えなさい。

ア 経験 イ 感覚 ウ 思考 エ 慣習 オ 他者

問2. 次の文は、本文から抜き出した文である。本文の【1】～【5】のどこに入れるのが適切か、番号を答えなさい。

実際、「うっかりミス」と考えられるものは日常的に、あらゆる場面で生じているだろう。

問3. 傍線A「結果的に間違いであった、ということは当然起こり得る」とあるが、なぜ知識を活用して答えを探しているのに間違いになることがあるのか。本文に即して説明しなさい。

問4. 傍線B「得手不得手」の意味は何か、本文に即して説明しなさい。

問5. 傍線C「『手抜き』」とあるが、本文におけるこの語句の意味を説明しなさい。

問6. 傍線D「もし将来において、AIが正確性と迅速性が求められる度合いを自ら（学習に基づいて）判断するようになれば、AIも『うっかりミス』をされると考えられるようになるかもしれない」とあるが、なぜAIも「うっかりミス」をするようになると言えるのか。筆者の考えを説明しなさい。

問7. 筆者は、「AIと異なる、人間の思考とはどのようなものだ」と説明しているか、本文をもとに120～150字でまとめなさい。

問8. AIと人間のそれぞれ得意な点、優れている点は何だと考えられるか、本文をもとにまとめなさい。そして、それに対する自分の考えを述べなさい。200字～300字で書くこと。